

く牧之原市からも、電源車の派遣に関する調整や、ブルーシートの提供を、大船渡市からは、水のペットボトルの提供を受けました。その他、多くの自治体からご支援をいただきました。

問 作田川の河川整備について伺います。

答 都市建設部長 作田川の河川整備については、県において令和17年度の完成を目標として進められていますが、用地買収等の問題により、工事着手が出来ない区間があると聞いています。

問 今回の災害において、断水しなかった市営水道の取り組みについて伺います。

答 水道課長 停電時には、浄水場は自家発電の運転に切り替わります。また、取水用の井戸は、大型の可搬式発電機を1台常備しており、持参して手動に切り替え対応しました。また、水不足が予想されることから、業者に可搬式発電機2台の借り入れを依頼しました。

台風21号では、水道管の断絶、漏水が発生しましたが、備蓄材料による漏水箇所の止水工事を実施し、給水を再開しました。



議員 櫻田基介 新政会

防災について

問 避難所の多くは体育館が指定されていますが、夜間等の災害時の開放について伺います。

答 総務部長 夜間、早朝等は震度5弱以上、津波警報の発令を以って、近隣の職員が開放します。開錠担当者を各避難所で2〜4名指定しています。

問 エアコンが有る教室の避難所としての使用について伺います。

答 総務部長 避難者の数、避難生活の長短により、施設管理者と協議し、教室の利用については検討します。体育館での避難生活に支障がある方が優先的に使用することとなります。

問 避難所の開設に関する考え方について伺います。

答 総務部長 津波・地震災害で避難所生活が長期間の場合は体育館を使用します。市の4分の1の世帯が避

難することを想定しています。風水害は短期間に大勢の避難者が想定されますが、行政も通常の業務を行いながら対応するため、多くの避難所の開設には住民の協力が必要不可欠となります。

問 ペット同伴の避難への対応について伺います。

答 総務部長 動物アレルギーの避難者も想定されるため、ペット同伴の避難は考えていませんが、隔離が可能な場所があり、他の避難者に迷惑がからない場合は受け入れが可能と考ええます。ただし、ペット等の餌を持参し、ゲージで飼育でき、鳴き声等で他者に迷惑とならないことが前提です。

問 停電による防災行政無線の屋外拡声器使用の状況について伺います。

答 総務部長 停電時は付属のバッテリーで稼働しますが、停電期間が長く、放送できない状況が発生しました。そのため、広報車や消防団が巡回して放送し対応しました。

問 屋外拡声器のバッテリーのメンテナンスの状況について伺います。

答 総務部長 業者による点検を実施しており、バッテリーは概ね4年ごとに交換しています。

問 中小企業の被害件数および被害額について伺います。

答 経済環境部長 台風15号での被害は174件、被害総額は約3億3

500万円です。停電等による被害は43件、総額は約2850万円です。台風19号の被害は7件、被害総額は約1200万円、停電等による被害は1件、総額約500万円です。10月25日の水害での被害は3件、被害総額は約1100万円です。

問 企業の被災事業者向け相談窓口について伺います。

答 経済環境部長 市では特例制度の認定事務について、商工会では被災小規模事業者再建事業、災害融資および共済の相談等を行っています。

問 被災事業者の相談件数および支援の状況について伺います。

答 経済環境部長 融資に必要な認定申請が3件、商工会への相談が65件ありました。そのうち、申請に至った件数は、被災小規模事業者再建事業持続化補助金が12件、日本政府金融公庫、災害復旧貸付が7件、県の制度融資が1件です。

問 被災企業への今後の支援策について伺います。

答 経済環境部長 県では事業活動の再開に必要な費用を助成する事業を予定しています。補助対象は保険給付を除く施設の修繕費、機械装置費、設備廃棄費、備品等で、補助率は4分の3、上限額は1000万円を予定しているとのこと。